

高校生 のための ミチシルベ

参加費無料



第1回：新興・再興ウイルスによる新たなパンデミックに備える



開催日時：2023年7月28日（金）14:00～15:00

講師：上村 健太郎氏（大阪大学感染症総合教育研究拠点・微生物病研究所 特任助教）

開催形式：Zoomによるオンライン開催



オンライン
開催

第1回
お申込みはコチラ

新型コロナウイルスの流行は私たちの生活を一変させるとともに、世間にウイルスはネガティブなものであるという印象を植え付けました。生き物の中には必ずウイルスが潜っていますが、病気を起こすウイルスは一握りに過ぎません。その一部のウイルスが原因となる病気を治療するために、大学や製薬企業では日進月歩で抗ウイルス薬の研究開発が行われています。今回の講義では、ウイルスや抗ウイルス薬について、薬が効くメカニズムや大学や製薬企業における薬の開発研究について紹介します。また、大学入学以降、様々な学部・研究科、様々な土地、様々な形で研究に携わった経験も紹介いたしますので、今後の進路選びの参考にさせていただければと思います。

第2回：遺伝子改変技術を「知る」・「見る」・「考える」



開催日時：2023年8月4日（金）14:00～15:00

講師：江森 千紘氏（大阪大学 微生物病研究所 遺伝子機能解析分野 助教）

開催場所：SpringX（グランフロント大阪ナレッジ
キャピタル2F） 定員：20名

第2回
お申込みはコチラ

現地開催



遺伝子とは、人間の体を作る設計図です。その設計図を書き換える技術が「遺伝子改変技術」。遺伝子組み換え技術は、実は大豆やとうもろこしなどの農作物をはじめ、食品や医薬品など、私たちの身の回りで広く用いられています。私たち基礎科学研究者は、この遺伝子組み換え技術を未だ知られていない遺伝子の機能を明らかにするために活用しています。身近な製品から最先端科学研究まで広く応用される遺伝子組み換え技術。その成り立ちや歴史など基礎的な知識から、遺伝子改変動物を用いて私たちが明らかにしようとしている「受精」や「生殖」の謎について、現在実際にすすめている研究内容とともにお話します。

